**区分（１）ひとり親の雇用促進等に貢献し、功績が顕著である企業等** に応募する場合

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 |  |

**令和３年度　大阪府子育てハートフル企業顕彰　応募用紙**

**１ 企業(団体)の基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな |  |
| 企業(団体)名 |  |
| 代表者職・氏名 |  |
| 設立年月 | 年　　月　 | 資本金（令和3年3月31日現在） | 万円 |
| 本社所在地 | 〒 |
| 大阪府内の主な事業所（本社と異なる場合のみ記入） | 〒 |
| 社員(職員)数令和3年6月1日現在 | 　　　　　　　人 |
| 業種 |  |
| 事業内容 |  |
| ホームページアドレス | ※リンクに同意いただいた企業等については、ひとり親雇用の取組につき、大阪府において広報を行う場合があります。　 |
| 大阪府ホームページへのアドレスのリンクの可否 | 　[ ] 可　　　[ ] 否 |
| 担当者 | 部署名・職・氏名 |  |
| 電　　話 |  |
| Ｆ Ａ Ｘ |  |
| Ｅメール |  |

**２　応募要件確認**

以下の内容について確認されましたら、チェック☑をお願いします。

　[ ]  以下の応募要件を満たしています。

　　(１)大阪府内に事務所または事業所を設置していること。

　　(２)労働関係法規及び福祉関係法規を遵守していること。

　　(３)大阪府暴力団排除条例第２条第１号から第４号のいずれかに該当する者又は

反社会的勢力と関係を有する者でないこと。

　　(４)破壊活動防止法に基づく暴力主義的破壊活動を行った者に該当しないこと。

　　(５)破産法に基づく破産手続開始の申立て、会社更生法に基づく更生手続開始の申立て又は民事再生法に基づく再生手続開始の申立てが行われていないこと。

(６)その他、法令上、社会通念上又は子どもの福祉の観点から表彰を受賞するに適当でない事由が存在しないこと。

※上記事項の確認のため、官公庁への照会を行う場合がありますので、ご了承願います。

**３ 子育てに関連する表彰の受賞歴等**

　　※企業（団体）として、子育てに関連する受賞歴や厚生労働省の「くるみんマーク」取得等の実績があれば記載してください。

|  |
| --- |
|  |

**４ ひとり親の雇用状況**

■令和３年６月１日現在の雇用者数

|  |  |
| --- | --- |
| 正社員・正職員(※1)の人数【Ａ】 | 　　人　 |
| 正社員・正職員のうちひとり親(※2)の人数【Ｂ】 | 　　人　 |
| ひとり親の雇用率（％）【Ｂ／Ａ×100】※小数点第３位を四捨五入 | 　　％　 |

■正社員・正職員のひとり親の平均勤続年数

|  |  |
| --- | --- |
| 平均勤続年数(※3) | 年　　　月　 |
| １年未満 | １年以上２年未満 | ２年以上３年未満 | ３年以上４年未満 | ４年以上５年未満 | ５年以上６年未満 | ６年以上 |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |

(※1)正社員・正職員

…雇用期間に定めがなく(定年まで雇用される場合を含む)、フルタイム(事業所で定められている１週間の所定労働時間)で勤務する者(ただし、育児・介護等の理由により短時間勤務が認められている者を含む)

(※2)ひとり親

…母子家庭の母及び父子家庭の父。

なお、令和３年６月１日現在ひとり親ではないが、採用時にひとり親であった者を含む。

(※3)平均勤続年数

　 …「正社員・正職員のうちひとり親の雇用継続日数の累計

÷ 正社員・正職員のうちひとり親の人数(上表【Ｂ】) ÷ 30 ＜小数点以下切捨＞」

により月数を算出のうえ、年月を記載してください。

取組内容

記載様式

**５ 具体的な取組内容**

取組はいくつでも提出いただくことができますが、**取組ごとに本様式（取組内容記載様式）を作成**してください。

※各取組について、１から順番に番号を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組番号 |  |

|  |
| --- |
| ＜募集要項p.4定性的評価の視点＞ |
| ①～⑤のいずれかにチェック☑してください。【視点】　[ ]  ①ひとり親・子育て世帯のための休暇制度の充実【参考：採点方法】１取組あたり：10点満点合　　　　　計：50点満点　[ ]  ②ひとり親・子育て世帯の働きやすい環境づくり　[ ]  ③ひとり親・子育て世帯への柔軟な勤務への対応　[ ]  ④職場復帰のための支援制度の充実　[ ]  ⑤その他独自の取組み※同じ視点について、複数の取組を提出いただくことも可能です。 |
| ＜具体的な取組内容＞ |
| ※以下の例を参考に、内容について具体的に記載してください。(例1)取組内容が「子の看護休暇」の場合…日数・対象者・申請しやすくするための工夫・取得実績など(例2)取組内容が「相談窓口の設置」の場合…相談対応時間帯、相談の手法、利用しやすくするための工夫、相談件数、相談から制度改善につながった事例　など |